

令和7年度学校評価表による教職員個人アンケート 集計結果

I 学校経営

項目	観点	評価規準	評価平均値	
			R07	R06
1 教育目標	内容	生徒や学校の実態を踏まえた内容になっている。	3.5	3.3
	取組	目標達成のため教職員が意欲的に取組んでいる。	3.4	3.1
2 経営方針	取組	学校の在り方や経営方針について共通理解を図りながら、円滑に学校運営がなされている。	3.2	2.9
3 学校課題 (重点目標)	設定	学校の実態に即した具体的な目標を設定している。	3.5	3.3
	取組、評価	創意工夫を生かした取組を行うとともに計画的に達成状況を評価し、改善に努めている。	3.4	3.2
4 組織運営	取組 (分掌)	部、年次、分掌間の連携を図りながら円滑に運営されている。	3.2	3.0
	取組 (年次、ホームルーム)	(他)部、年次、分掌、教科等と連携を図りながら円滑に運営されている。	3.2	3.1
		個々の生徒や担任の抱える問題を部や学年で取り上げ、部や学年全体で取り組んでいる。	3.2	3.1
	取組 (委員会)	設置された目的に沿って、部、年次、分掌等と連携を図りながら円滑に運営されている。	3.5	3.1
5 管理職の指導体制	取組	校長のリーダーシップが発揮され、学校運営が円滑に行われている。	3.3	2.9
		教職員が職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境が整っている。	3.5	2.6
6 情報・文書	取組	指導要録等の公文書の記入・点検・保管を適正に行っている。	3.6	3.6
		個人情報について、プライバシーを侵したり、不利益を与えないようにその扱いに配慮している。	3.6	3.6
7 施設・設備	取組	施設・設備は安全点検を計画的に行うなどして適切に整備・保全している。	3.7	3.5
8 金銭・物品の管理	取組	徴収金等の会計を適正に処理し、適切に会計報告するなどして厳重に管理している。	3.6	3.6
9 研修・研究	取組	校外で行われる研修会等に教職員が無理なく参加できる体制が整っている。	3.8	3.3
		研究会、研修会等の報告会を開催するなど、教職員が情報を共有する体制が整っている。	3.4	3.2
10 家庭や地域社会との連携	取組	学校と家庭の関係を緊密にし、生徒一人一人の家庭環境の理解に努めている。	3.3	3.5
		教育方針や教育活動について、家庭や地域社会の理解を得るため、積極的に情報提供を行っている。	3.6	3.2

項目	観 点	評 価 規 準	評価平均値	
			R07	R06
11 学校の将来像	明確化	学校の将来像について教職員が十分に論議し、共通理解を図っている。	2.9	2.7
		生徒、家庭、地域社会の要望を反映したものになっている。	2.8	3.1
12 学校独自の観点・領域	取 組	単位制、3部制の特色を生かした教育課程を編成するなどして、生徒、家庭、地域社会の要望に応じている。	3.3	3.2
13 教職員の姿勢や意識	取 組	教職員としての自覚と誇りをもち、意欲的に職務に取り組んでいる。	3.3	3.1
		教職員相互の連携を重んじ、協力して生徒の育成に取り組んでいる。	3.3	3.0
		家庭や地域社会との連携を重んじ、協力して生徒の育成に取り組んでいる。	3.1	3.2
14 危機管理	体 制	緊急時の体制ならびに事故防止の体制が整っており、十分に機能している。	3.6	3.4
	取 組	登下校時の安全や交通事故防止のために、積極的な指導を行っている。	3.3	3.3
		施設・設備、薬品等の安全管理が万全であり、定期的に確認している。	3.3	3.5
		非行やいじめなどの生徒の問題行動を予防するために、家庭との連携を図っている。	3.5	3.4
15 その他	取 組 (中・高の接続)	教育課程及び教育活動の内容について、中学校の生徒、保護者、教職員に積極的に説明している。	3.6	3.6
		体験入学や学校説明会等を積極的に実施している。	3.8	3.8
	取 組 (学校運営協議会制度)	学校運営協議会に対する情報提供を適切に行い、学校に対する意見や要望を教育活動の工夫・改善のために役立っている。	3.6	3.3
	取 組 (学校評価)	計画的に学校評価を行い、教育活動の工夫・改善のために役立っている。	3.3	3.4
学校経営全体平均値			3.4	3.2

II 教育活動

項目	観点	評価規準	評価		
			R07	R06	
1 教育課程	理念	生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態、定時制課程の特色、生徒の興味・関心、進路等を十分考慮して編成している。	3.3	3.3	
2 教科指導	計画	学習指導要領に基づき、生徒の実態、学校の教育目標、学校課題等を踏まえて指導計画を作成している。	3.4	3.4	
	教材の工夫	生徒の実態、興味・関心等を踏まえて教材を精選するとともに研究に努めている。	3.5	3.4	
		指導の工夫	生徒一人ひとりの基礎学力を高めるために、個に応じた指導を実践している。	3.6	3.3
			体験的・問題解決的な学習を取り入れるとともに、その指導法の工夫・改善に努めている。	3.5	3.2
	指導の工夫	指導の効果を高めるために、コンピュータ、視聴覚教材、教具等の教育機器の活用に努めている。	3.5	3.4	
評価	評価・評定の方法について工夫・改善に努めている。	3.6	3.4		
3 道德教育	取組	環境・時間・物・集団のルール等の大切さを理解させるなど、生徒の望ましい生活態度を育成することに取り組んでいる。	3.5	3.2	
4 特別活動等	内容	全体として調和のとれたものとなっており、学校の特色づくりに役立つように工夫・改善されている。	3.5	3.2	
5 総合的な探究の時間	計画	計画は、生徒の実態や興味・関心、地域の特色を生かし、生徒の生きる力の育成をめざすものになっている。	2.9	2.8	
	指導体制	教職員の連携が図られ、指導体制が確立している。	2.8	2.8	
	指導の工夫	生徒が問題意識をもち、自らの課題を見つけることができるように内容が工夫している。	2.7	2.7	
	評価	生徒による自己評価・相互評価、指導者による評価等多面的な評価をしている。	2.9	2.9	
6 体育・健康教育	計画	各教科、特別活動、家庭や地域社会等との連携を図った指導計画を作成している。	3.3	3.4	
	取組	生徒の事故・怪我・病気に適切に対応している。	3.4	3.5	
		生徒の自己管理能力を高めるための指導を行っている。	3.5	3.3	

項 目	観 点	評 価 規 準	評 価	
			R07	R06
7 生徒指導	計 画	生徒の実態に応じて、共通理解のもとに指導目標を設定するとともに指導計画を作成している。	3.5	3.4
	取 組	指導の具体的な方法について、共通理解を図り、教職員間で不統一が起きないようにしている。	3.5	2.9
		生徒一人一人の言動を注意深く観察し、生徒理解に努め、信頼関係の確立を図っている。	3.3	3.3
		教育相談の機能の重要性を認識し、生徒の心のケアに積極的に取り組んでいる。	3.6	3.1
		いじめアンケートや面談を通して、いじめのない学校づくりに努めている。	3.5	3.6
8 進路指導	計 画	生徒の実態に応じて、共通理解のもとに目標を設定するとともに指導計画を作成している。	3.7	3.4
	取 組	望ましい勤労観や職業観を育成する指導内容・指導方法の工夫に努めている。	3.3	3.2
		進学、就職に関する情報を生徒に円滑に提供する体制が整っている。	3.3	3.2
9 学校図書館	取 組	教育目標、学校課題、生徒の実態等を踏まえて活用計画を作成するとともに、図書、視聴覚教材の効果的な収集、管理を行っている。	2.5	2.6
		生徒、職員が円滑に利用できるよう、学年、教科、分掌と連携を図りながら図書館を運営している、	2.6	2.7
教育活動全体平均値			3.4	3.2

※ 提出人数 33名

※ 評価の数値

- | | |
|------------|----------------|
| 1 そう思わない | 2 どちらかというと思わない |
| 3 だいたいそう思う | 4 そう思う |